

氏名	田村佳士枝	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	小児看護学				
学位	修士（看護学）				
学歴	1987年聖路加看護大学看護学科 2003年聖路加看護大学修士課程				
経歴	1993年千葉県立衛生短期大学講師、2003年聖路加看護大学助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2018年同大学准教授				
所属学会（役職）	日本小児看護学会（評議委員）、日本看護科学学会、日本小児保健学会、日本子ども虐待防止学会				

【2025年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作(著書及びその他の著作物)						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	骨延長術を受ける子どもと親の意思決定 および術後の乗り越え方	単独	日本小児看護学会第35回学 術集会		○田村佳士枝	2025.7
2	埼玉県立大学が地域の子どもに開く「か らだのおはなし会」の実践と課題	共同	聖路加看護学会		○高橋恵子、吉村基宜、田村佳士枝、浅 井宏美、山田牧子、望月浩江、日野さち 恵、添田啓子、平田美佳	2025.7
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	埼玉県立大学が地域の子どもに開く「か らだプログラム」の開発	共著	埼玉県立大学奨励研究発表 会A研究		○吉村基宜、高橋恵子、田村佳士枝、浅 井宏美、山田牧子、望月浩江、日野さち 恵、添田啓子、平田美佳	2026.2
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	看護理論		1	大学院前期課程の学生に大理論であるオレムのセルフケア不足理論につ いて概説した。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	小児看護学Ⅲ		15	小児事例の看護過程を学習するPBLテュートリアル科目で3グループを 担当した。グループ形成を促進し、子どもをイメージしながら、アセス メントできるように指導を実施した。また、シミュレーションにて健 康な子どもの生活と入院後の生活の理解を推進した。発表会を対面で行 うことで、学びの共有と多くの意見交換が実施できた。		

2	小児看護学Ⅳ	○	15	小児看護技術の修得を目的とし、ガイダンス準備、全体の進行を推進した。事例をもとに技術項目ごとのワークシートを用いた学内実習の運営を調整した。後半は自己練習期間の指導および技術テストにて評価および学生の振り返りにて技術修得を促進した。
3	子どもと家族のヘルスプロモーション		8	4年次生対象。子どもと家族のヘルスプロモーションの理解を深めるために、小児専門病院在宅支援室の看護師から事例提供および講義いただくための調整を行った。3グループ担当し、事例の把握とインタビューに向けた質問内容およびまとめの指導を実施した。
4	IPW演習		8*1開講	全学3年生対象で2クラス7組を担当した。新たな演習方法としてワークシートの検討および進行方法について準備に参画した。模擬事例を用いたグループ討議を推進し、進捗を確認し支援を行った。
5	卒業研究拡大ゼミ		8	小児看護学領域卒研担当学生全員と教員が参加して開催した。研究の進捗状況に沿って、研究テーマ、目的、方法や結果について、2回に渡って開催し、意見交換をとおして、研究活動を支援した。
6	小児看護学特論		6	大学院前期課程の学生にオレムセルフケア不足理論について概念の検討、文献クリティーク、事例アセスメントを課題として討議を実施した。
7	臨床薬理学		3	患者・家族の服薬管理能力向上のために理論を活用し、討議を通して専門看護師の役割について検討するため、討議の支援を実施した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	小児看護学実習		学外実習：8週間	3年生30名を5クール10週間にわたり担当した。2施設2病棟で臨地での2週間実習で受け持ち児を中心に看護展開を指導した。臨床指導者と実習体制を調整し、対象理解・計画立案・実践・評価・振り返りを推進した。
2	IPW実習		学外実習：4日間	4年次生6名を対象に、感染予防を考慮し施設担当者と調整しながら実施した。事前訪問も含め円滑に実習を推進した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2025.4～2025.12	主指導 5名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	オープンカレッジ 専門職スキルアップ講座 臨床家のための看護研究セミナー	埼玉県立大学	県内施設で勤務されている看護師の研究活動を支援することを目的に、2回のミニ講義と参加者の研究を題材としたグループ討議を実施した。	2025.5～2025.6
2	オープンカレッジ講座「からだ」のおはなし会	埼玉県立大学	近隣在住の5歳前後の子どもと保護者を対象に、紙芝居を使って食べ物の通り道およびおしっこのはなしを知るおはなし会を1日で2開講開催した。	2025.8
3	草加市立病院看護研究ワーキング	草加市立病院看護部	研究計画書作成のための講義実施および7回のワーキングにて7部署の研究計画書作成のための指導を実施した。	2025.4～2026.3

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	子ども家庭庁成育局母子保健課	成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 事前評価委員会委員、中間・事後評価委員会委員	2025.4～2027.3
2	日本小児看護学会	評議委員	2025.6～2029.6
3	日本小児看護学会	教育委員会	2025.6～2027.6
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	学生支援	県立病院自己推薦者への支援として、キャリアセンターにおける面接対策講座に参加し、面接対策の助言を実施した。	2026.3
2	学科等における委員会等	学科内のカリキュラム検討会議にて、1～3年次生のポートフォリオDP評価の集計を行い、とりまとめを行った。また新カリ作成に向けて、各教科のモデル・コアカリキュラムの項目ごとの内容充足度のとりまとめを分担した。	2025.4～2026.3
3	大学広報活動	オープンキャンパスにおける小児看護学実習室の見学を準備し実施した。	2025.8
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		